

令和2年国勢調査

北海道の人口・世帯数等の概要
(確定値)

令和3年12月

北海道総合政策部計画局統計課

目 次

1 全道の人口	
(1) 総人口	p 3
(2) 市部・郡部別人口	p 5
(3) 振興局別人口	p 5
(4) 市町村別人口	p 6
(5) 年齢別人口	p 9
(6) 配偶関係	p 11
(7) 外国人人口	p 13
2 全道の世帯数	
(1) 総世帯数及び一般世帯数	p 14
(2) 家族類型別一般世帯数	p 16
(3) 高齢者世帯数	p 17
(4) 住宅の状況	p 18

利用にあたって

この概要は、令和3年11月30日に総務省統計局が公表した「令和2年国勢調査人口等基本集計結果（確定値）」のうち、北海道分の主な項目について取りまとめたものである。

1 調査の目的

国勢調査は、統計法（平成19年法律第53号）第5条第2項の規定に基づき、我が国の人口、世帯、産業構造等の実態を把握し、各種行政施策の基礎資料を得ることを目的としている。

調査は大正9年以来ほぼ5年ごとに行われており、令和2年国勢調査は実施100年目に当たる。

2 調査の時期

令和2年10月1日午前零時（以下「調査時」という。）現在

3 調査の対象

調査時において、本邦内に常住している者。

ただし、外国政府の外交使節団・領事機関の構成員及び外国軍隊の軍人・軍属とこれらの家族を除く。

4 調査事項

(1) 世帯員に関する事項

氏名、男女の別、出生の年月、世帯主との続き柄、配偶の関係、国籍、現在の住居における居住期間、5年前の住居の所在地、在学・卒業等教育の状況、就業状態、所属の事業所の名称及び事業の種類、仕事の種類、従業上の地位、従業地又は通学地、従業地又は通学地までの利用交通手段

(2) 世帯に関する事項

世帯の種類、世帯員の数、住宅の種類、住宅の建て方

5 調査の方法

総務大臣から任命された約61万人（全国）の国勢調査員が、世帯を訪問し「インターネット回答利用ガイド」、「調査票」などを配布し、世帯がインターネット、郵送や調査員への提出で回答する方法により実施した。

6 用語の解説

(1) 人口

国勢調査における人口は、調査時に調査の地域に常住している者（「常住人口」）をいう。

ここでいう「常住している者」とは、当該住居に3か月以上にわたって住んでいるか、住むことになっている者をいい、3か月以上にわたって住んでいる住居又は住むことになっている住居のない者は、調査時現在居た場所に「常住している者」とみなした。

(2) 年齢

年齢は、令和2年9月30日現在による満年齢。

なお、令和2年10月1日午前零時に生まれた人は、0歳とした。

(3) 世帯の種類

世帯は次のとおり「一般世帯」と「施設等の世帯」に区分。

ア 一般世帯

(ア) 住居と生計を共にしている人々の集まり又は一戸を構えて住んでいる単身者

ただし、これらの世帯と住居を共にする単身の住み込みの雇人については、人数に関係なく雇主の世帯に含めた。

(イ) 上記の世帯と住居を共にし、別に生計を維持している間借りの単身者又は下宿屋などに下宿している単身者

(ウ) 会社・団体・商店・官公庁などの寄宿舎、独身寮などに居住している単身者

イ 施設等の世帯

(ア) 寮・寄宿舎の学生・生徒

(イ) 病院・療養所の入院者

(ウ) 社会施設の入所者（老人ホーム、児童保護施設等）

(エ) 自衛隊営舎内居住者

(オ) 矯正施設（刑務所、拘置所等）の入所者

(カ) その他（定まった住居を持たない者等）

〔世帯の単位は、原則として(ア)～(ウ)は棟ごと、(エ)は中隊又は艦船ごと、(オ)は建物ごと、(カ)は一人一人である。〕

7 統計表上の注意

(1) 市区町村の境界は、調査日（令和2年10月1日）現在の境界による。

(2) 「－」は該当数字がないもの、「0.0」は単位未満の数を示す。

内容についての問い合わせ先
北海道総合政策部計画局統計課生活統計係
〒060-8588 札幌市中央区北3条西7丁目北海道庁別館9階
電話 011-204-5144（直通）011-231-4111（内線 23-682）

1 全道の人口

(1) 総人口

北海道の総人口は 522 万 4,614 人

前回調査（平成 27 年）から 15 万 7,119 人減少（△ 2.9%）

北海道の総人口は 5,224,614 人で、前回調査（平成 27 年国勢調査）の 5,381,733 人と比べると、157,119 人減少（△2.9%）している。

昭和 60 年までは増加してきたが、平成 2 年に初めて減少し、平成 7 年に一旦増加したものの、平成 12 年には再度減少に転じ、その後、減少が続いている。

また、男女別人口は、男性が 2,465,088 人、女性が 2,759,526 人で、女性が男性より 294,438 人多く、人口性比（女性 100 人に対する男性の数）は 89.3 となり、前回調査に比べ、男性が 72,001 人（△2.8%）、女性が 85,118 人（△3.0%）減少し、人口性比は 0.1 ポイント上昇した。

表 1 北海道の人口の推移

(単位：人、%)

調査年次	人 口			総数の対前回比		人口性比	人口密度 (1 km ² 当たり)
	総数	男	女	増減数	増減率		
大正 9 年	2,359,183	1,244,322	1,114,861	—	—	111.6	26.7
14 年	2,498,679	1,305,473	1,193,206	139,496	5.9	109.4	28.2
昭和 5 年	2,812,335	1,468,540	1,343,795	313,656	12.6	109.3	31.7
10 年	3,068,282	1,593,845	1,474,437	255,947	9.1	108.1	34.6
15 年	3,272,718	1,695,600	1,577,118	204,436	6.7	107.5	36.9
20 年	3,518,389	1,738,623	1,779,766	245,671	7.5	97.7	44.8
25 年	4,295,567	2,169,393	2,126,174	777,178	22.1	102.0	54.7
30 年	4,773,087	2,428,833	2,344,254	477,520	11.1	103.6	60.8
35 年	5,039,206	2,544,753	2,494,453	266,119	5.6	102.0	64.2
40 年	5,171,800	2,583,159	2,588,641	132,594	2.6	99.8	65.9
45 年	5,184,287	2,552,806	2,631,481	12,487	0.2	97.0	66.0
50 年	5,338,206	2,621,285	2,716,921	153,919	3.0	96.5	68.0
55 年	5,575,989	2,737,089	2,838,900	237,783	4.5	96.4	71.0
60 年	5,679,439	2,766,296	2,913,143	103,450	1.9	95.0	72.3
平成 2 年	5,643,647	2,722,988	2,920,659	△ 35,792	△ 0.6	93.2	72.0
7 年	5,692,321	2,736,844	2,955,477	48,674	0.9	92.6	72.6
12 年	5,683,062	2,719,389	2,963,673	△ 9,259	△ 0.2	91.8	72.5
17 年	5,627,737	2,675,033	2,952,704	△ 55,325	△ 1.0	90.6	71.8
22 年	5,506,419	2,603,345	2,903,074	△ 121,318	△ 2.2	89.7	70.2
27 年	5,381,733	2,537,089	2,844,644	△ 124,686	△ 2.3	89.2	68.6
令和 2 年	5,224,614	2,465,088	2,759,526	△ 157,119	△ 2.9	89.3	66.6

(注) 1 昭和 20 年は人口調査。

2 人口性比は、女性 100 人に対する男性の数。

図 1-1 人口及び人口増減率の推移

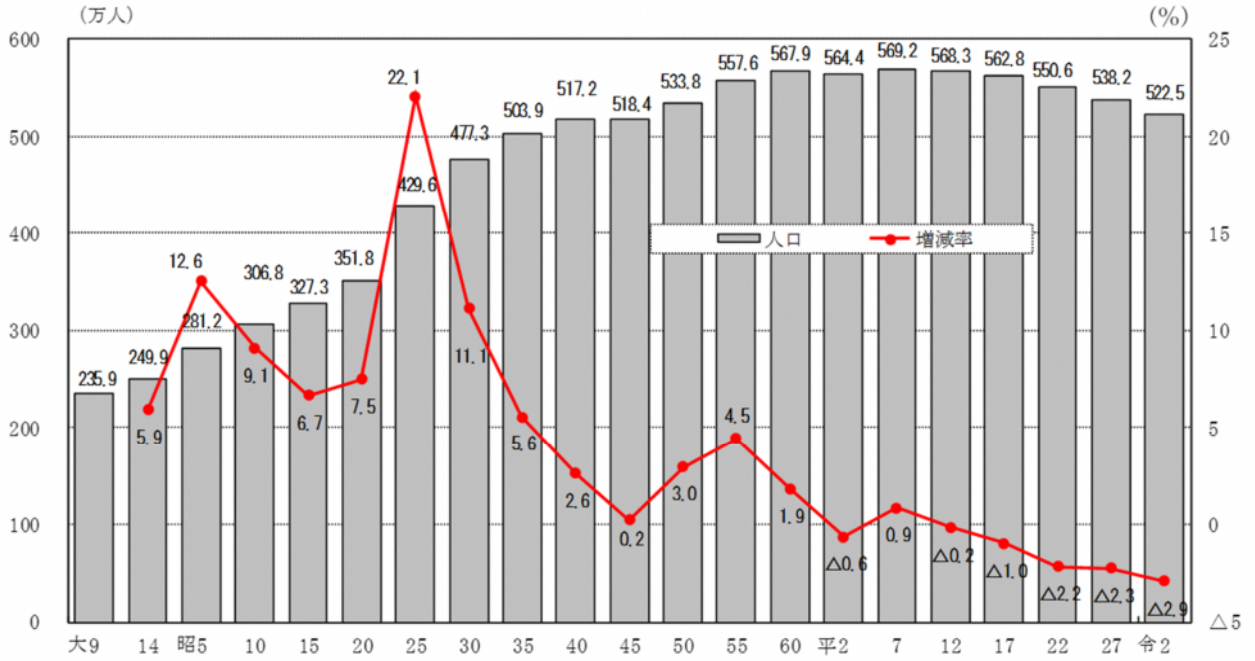
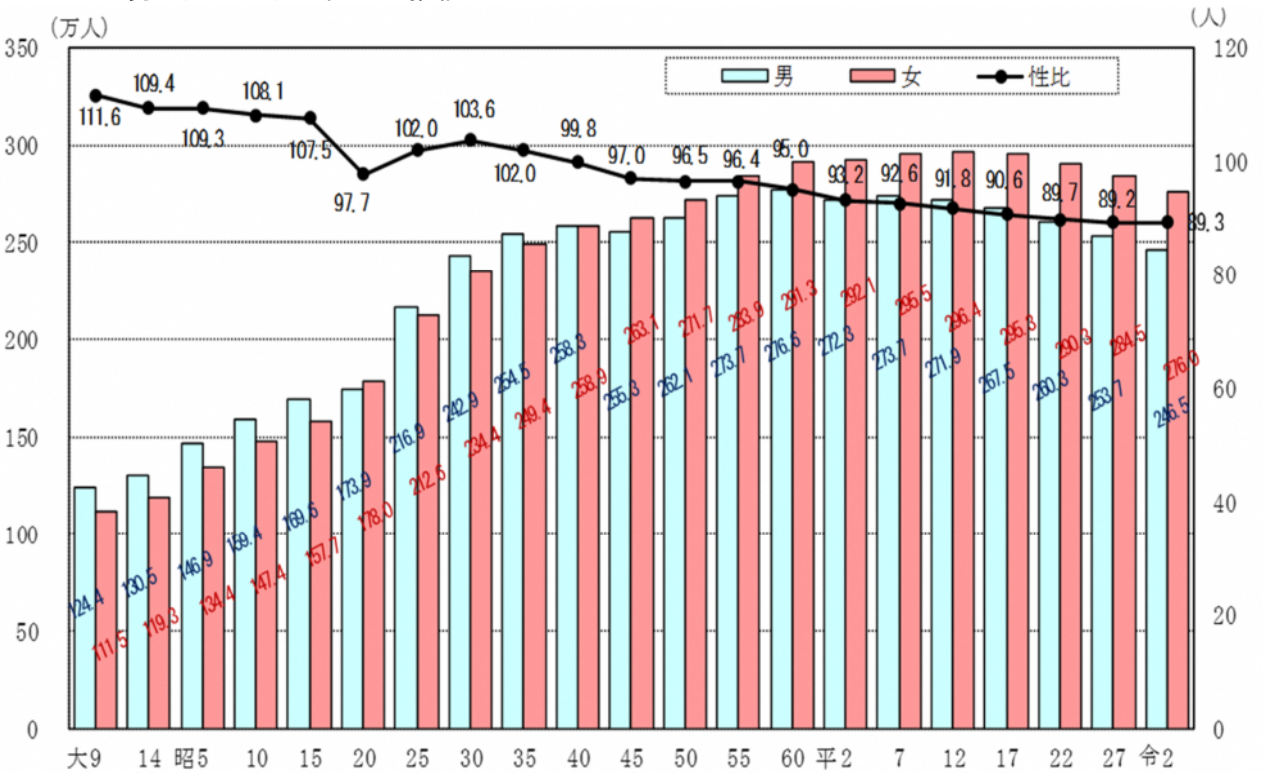


図 1-2 男女別人口及び性比の推移



(2) 市部・町村部別人口

市部の人口減少数が町村部を上回る

前回調査に比べ、市部の人口は 84,695 人 (△1.9%)、町村部の人口は 72,424 人 (△7.3%) 減少し、市部の減少数が初めて町村部を上回った。

表2 市部・町村部別人口の推移

調査年次	人口総数	市 部				町 村 部			
		人口	増減数	増減率	構成比	人口	増減数	増減率	構成比
大正9年	2,359,183	512,235	—	—	21.7	1,846,948	—	—	78.3
14年	2,488,879	608,219	95,984	18.7	24.3	1,890,480	43,512	2.4	75.7
昭和5年	2,812,335	700,870	92,451	15.2	24.9	2,111,885	221,205	11.7	75.1
10年	3,088,282	805,589	104,919	15.0	28.3	2,282,893	151,028	7.2	73.7
15年	3,272,718	869,124	83,535	7.9	26.6	2,403,594	140,901	6.2	73.4
20年	3,518,389	971,426	102,302	11.8	27.6	2,546,963	143,369	6.0	72.4
25年	4,295,567	1,526,020	554,594	57.1	35.5	2,769,547	222,584	8.7	64.5
30年	4,773,087	2,048,817	522,797	34.3	42.9	2,724,270	△ 45,277	△ 1.6	57.1
35年	5,039,206	2,589,717	540,900	26.4	51.4	2,449,489	△ 274,781	△ 10.1	48.6
40年	5,171,800	2,973,574	383,857	14.8	57.5	2,198,226	△ 251,263	△ 10.3	42.5
45年	5,184,287	3,317,514	343,940	11.6	64.0	1,866,773	△ 331,453	△ 15.1	36.0
50年	5,338,208	3,729,598	412,084	12.4	69.9	1,608,608	△ 258,165	△ 13.8	30.1
55年	5,575,989	3,982,678	253,078	6.8	71.4	1,593,313	△ 15,295	△ 1.0	28.6
60年	5,879,439	4,122,135	139,459	3.5	72.6	1,557,304	△ 38,009	△ 2.3	27.4
平成2年	5,643,647	4,167,409	45,274	1.1	73.8	1,476,238	△ 81,066	△ 5.2	26.2
7年	5,692,321	4,249,121	81,712	2.0	74.6	1,443,200	△ 33,038	△ 2.2	25.4
12年	5,683,062	4,389,368	140,247	3.3	77.2	1,293,694	△ 149,506	△ 10.4	22.8
17年	5,627,737	4,410,600	21,232	0.5	78.4	1,217,137	△ 76,557	△ 5.9	21.6
22年	5,506,419	4,449,360	38,780	0.9	80.8	1,057,059	△ 160,078	△ 13.2	19.2
27年	5,381,733	4,395,172	△ 54,188	△ 1.2	81.7	986,561	△ 70,498	△ 6.7	18.3
令和2年	5,224,614	4,310,477	△ 84,695	△ 1.9	82.5	914,137	△ 72,424	△ 7.3	17.5

(注) 人口は、調査時の市町村境界による。

(3) 振興局別人口

人口が増加したのは石狩振興局 (0.9%) のみ

前回調査と比べ、人口が増加したのは石狩振興局のみで、全道の人口に占める割合は 45.9% となっている。

表3 振興局別人口の推移

振興局名	昭和55	平成2	平成12	平22	平27	令和2	増 減 率				
							H2/S55	H12/H2	H22/H12	H27/H22	R2/H27
全道	5,575,989	5,643,647	5,683,062	5,506,419	5,381,733	5,224,614	1.2	0.7	△ 3.1	△ 2.3	△ 2.9
空知	488,630	420,006	386,657	336,254	308,336	281,964	△ 14.0	△ 7.9	△ 13.0	△ 8.3	△ 8.6
石狩	1,694,196	2,024,041	2,242,564	2,342,338	2,375,449	2,396,732	19.5	10.8	4.4	1.4	0.9
後志	318,915	287,580	262,811	232,940	215,522	198,888	△ 9.8	△ 8.6	△ 11.4	△ 7.5	△ 7.7
胆振	476,929	445,024	434,655	416,289	401,755	382,354	△ 6.7	△ 2.3	△ 4.2	△ 3.5	△ 4.8
日高	103,107	93,592	86,020	75,321	69,015	63,372	△ 9.2	△ 8.1	△ 12.4	△ 8.4	△ 8.2
渡島	510,842	483,183	461,677	427,807	404,798	380,158	△ 5.4	△ 4.5	△ 7.3	△ 5.4	△ 6.1
檜山	73,949	62,359	54,830	42,058	37,870	33,609	△ 15.7	△ 12.1	△ 23.3	△ 10.0	△ 11.3
上川	582,489	561,595	547,704	520,365	503,458	481,953	△ 3.6	△ 2.5	△ 5.0	△ 3.2	△ 4.3
留萌	89,554	76,262	65,891	53,105	47,912	43,050	△ 14.8	△ 13.6	△ 19.4	△ 9.8	△ 10.1
宗谷	105,737	92,778	80,767	73,447	67,503	62,140	△ 12.3	△ 12.9	△ 9.1	△ 8.1	△ 7.9
オホーツク	371,629	353,528	338,481	310,009	293,542	273,362	△ 4.9	△ 4.3	△ 8.4	△ 5.3	△ 6.9
十勝	353,686	356,095	357,858	348,597	343,436	332,648	0.7	0.5	△ 2.6	△ 1.5	△ 3.1
釧路	307,195	295,380	276,654	247,320	236,516	222,613	△ 3.8	△ 6.3	△ 10.6	△ 4.4	△ 5.9
根室	99,131	92,224	86,493	80,569	76,621	71,771	△ 7.0	△ 6.2	△ 6.8	△ 4.9	△ 6.3

(注) 人口は、調査時の市町村境界による。

平成22年4月1日支庁制度改革により、幌加内町は空知支庁から上川総合振興局へ、幌延町は留萌支庁から宗谷総合振興局に所管区域が変更した。また、網走支庁はオホーツク総合振興局に名称変更した。

(4) 市町村別人口

道内 179 市町村のうち、12 市町村で人口が増加
札幌市の人口は 197 万 3,395 人で全道人口の 37.8%

市町村別人口は、札幌市が 1,973,395 人で、全道人口の 37.8%を占めており、次いで旭川市 329,306 人、函館市 251,084 人、苫小牧市 170,113 人、帯広市 166,536 人と続いている。

前回調査からの人口増減を見ると、全道 179 市町村のうち、12 市町村で増加し、167 市町村で減少している。

人口が増加した主な市町村は、札幌市 21,039 人、千歳市 2,302 人、恵庭市 629 人、江別市 420 人の増となっており、増加率では、占冠村 7.8%、赤井川村 3.9%、東川町 2.5%、千歳市 2.4%の順となっている。

一方、人口が減少した主な市町村は、函館市 14,895 人、小樽市 10,625 人、旭川市 10,299 人、釧路市 9,665 人の減となっており、減少率では、月形町△19.4%、上砂川町△18.3%、夕張市△17.1%、歌志内市△16.6%の順となり、61 市町村が 10%以上の減少となった。

表 4-1 市町村別の人口
1 1位～60位

順位	市町村名	人口(人)	順位	市町村名	人口(人)	順位	市町村名	人口(人)
1	札幌市	1,973,395	21	稚内市	33,563	41	白老町	16,212
2	旭川市	329,306	22	伊達市	32,826	42	当別町	15,916
3	函館市	251,084	23	七飯町	27,686	43	八雲町	15,826
4	苫小牧市	170,113	24	名寄市	27,282	44	倶知安町	15,129
5	帯広市	166,536	25	幕別町	25,766	45	別海町	14,380
6	釧路市	165,077	26	根室市	24,636	46	森町	14,338
7	江別市	121,056	27	中標津町	23,010	47	芦別市	12,555
8	北見市	115,480	28	新ひだか町	21,517	48	浦河町	12,074
9	小樽市	111,299	29	紋別市	21,215	49	岩内町	11,648
10	千歳市	97,950	30	富良野市	21,131	50	斜里町	11,418
11	室蘭市	82,383	31	美唄市	20,413	51	日高町	11,279
12	岩見沢市	79,306	32	留萌市	20,114	52	栗山町	11,272
13	恵庭市	70,331	33	深川市	20,039	53	上富良野町	10,348
14	北広島市	58,171	34	遠軽町	19,241	54	長沼町	10,289
15	石狩市	56,869	35	釧路町	19,105	55	東神楽町	10,127
16	登別市	46,391	36	美幌町	18,697	56	赤平市	9,698
17	北斗市	44,302	37	芽室町	18,048	57	美瑛町	9,668
18	音更町	43,576	38	余市町	18,000	58	清水町	9,094
19	滝川市	39,490	39	士別市	17,858	59	厚岸町	8,892
20	網走市	35,759	40	砂川市	16,486	60	洞爺湖町	8,442

表4-1
261位～179位

順位	市町村名	人口(人)	順位	市町村名	人口(人)	順位	市町村名	人口(人)
61	東川町	8,314	101	羅白町	4,722	141	沼田町	2,909
62	湧別町	8,270	102	訓子府町	4,677	142	上砂川町	2,841
63	三笠市	8,040	103	小清水町	4,623	143	寿都町	2,838
64	むかわ町	7,651	104	蘭越町	4,568	144	黒松内町	2,791
65	枝幸町	7,565	105	厚真町	4,432	145	置戸町	2,775
66	江差町	7,428	106	浦幌町	4,387	146	古平町	2,745
67	せたな町	7,398	107	えりも町	4,374	147	壮瞥町	2,743
68	安平町	7,340	108	津別町	4,373	148	妹背牛町	2,693
69	夕張市	7,334	109	上ノ国町	4,306	149	猿払村	2,611
70	南幌町	7,319	110	雄武町	4,199	150	愛別町	2,605
71	白糠町	7,289	111	知内町	4,167	151	鶴居村	2,558
72	標茶町	7,230	112	美深町	4,145	152	遠別町	2,520
73	弟子屈町	6,955	113	様似町	4,043	153	礼文町	2,509
74	大空町	6,775	114	豊富町	3,974	154	利尻富士町	2,458
75	本別町	6,618	115	増毛町	3,908	155	滝上町	2,421
76	鷹栖町	6,567	116	中札内村	3,884	156	奥尻町	2,410
77	足寄町	6,563	117	清里町	3,883	157	雨竜町	2,389
78	羽幌町	6,548	118	木古内町	3,832	158	南富良野町	2,376
79	新十津川町	6,484	119	豊浦町	3,821	159	幌延町	2,371
80	広尾町	6,387	120	福島町	3,794	160	秩父別町	2,329
81	当麻町	6,319	121	鹿部町	3,760	161	陸別町	2,264
82	池田町	6,294	122	月形町	3,691	162	喜茂別町	2,156
83	松前町	6,260	123	興部町	3,628	163	真狩村	2,045
84	士幌町	5,848	124	厚沢部町	3,592	164	利尻町	2,004
85	新得町	5,817	125	比布町	3,520	165	留寿都村	1,911
86	共和町	5,772	126	上川町	3,500	166	積丹町	1,831
87	浜中町	5,507	127	浜頓別町	3,448	167	浦臼町	1,732
88	大樹町	5,420	128	乙部町	3,403	168	北竜町	1,724
89	新冠町	5,309	129	和寒町	3,192	169	中頓別町	1,637
90	鹿追町	5,266	130	仁木町	3,180	170	泊村	1,569
91	奈井江町	5,120	131	下川町	3,126	171	中川町	1,528
92	長万部町	5,109	132	更別村	3,080	172	幌加内町	1,370
93	ニセコ町	5,074	133	新篠津村	3,044	173	島牧村	1,356
94	今金町	5,072	134	豊頃町	3,022	174	占冠村	1,306
95	標津町	5,023	135	小平町	2,994	175	赤井川村	1,165
96	佐呂間町	4,875	136	歌志内市	2,989	176	初山別村	1,080
97	由仁町	4,822	137	天塩町	2,950	177	西興部村	1,053
98	上士幌町	4,778	138	京極町	2,941	178	神恵内村	870
99	平取町	4,776	139	苫前町	2,936	179	音威子府村	706
100	中富良野町	4,733	140	剣淵町	2,926			

表4-2 人口増減率別市町村数（平成7年～令和2年）

（単位：市町村）

人口増減率	平成7 ～12年	平成12 ～17年	平成17 ～22年	平成22 ～27年	平成27 ～令和2年
総 数	212	198	179	179	179
人口増加市町村	32	23	16	8	12
増加率 20%以上	0	0	0	0	0
10～20%未満	1	2	0	1	0
5～10%未満	9	3	2	0	1
0～5%未満	22	18	14	7	11
人口減少市町村	180	175	163	171	167
減少率 0～5%未満	74	61	34	33	25
5～10%未満	88	89	91	93	81
10～15%未満	15	24	33	38	55
15%以上	3	1	5	7	6

表4-3 人口増減の大きい市町村

1 増加した市町村（12市町）

（単位：人、%）

市町村名	増 加 数				市町村名	増 加 率			
	令和2年	平成27年	増加数	増加率		令和2年	平成27年	増加数	増加率
札幌市	1,973,395	1,952,356	21,039	1.1	占冠村	1,306	1,211	95	7.8
千歳市	97,950	95,648	2,302	2.4	赤井川村	1,165	1,121	44	3.9
恵庭市	70,331	69,702	629	0.9	東川町	8,314	8,111	203	2.5
江別市	121,056	120,636	420	0.3	千歳市	97,950	95,648	2,302	2.4
東川町	8,314	8,111	203	2.5	ニセコ町	5,074	4,958	116	2.3
ニセコ町	5,074	4,958	116	2.3	札幌市	1,973,395	1,952,356	21,039	1.1
倶知安町	15,129	15,018	111	0.7	鶴居村	2,558	2,534	24	0.9
占冠村	1,306	1,211	95	7.8	恵庭市	70,331	69,702	629	0.9
赤井川村	1,165	1,121	44	3.9	倶知安町	15,129	15,018	111	0.7
鶴居村	2,558	2,534	24	0.9	江別市	121,056	120,636	420	0.3
上士幌町	4,778	4,765	13	0.3	上士幌町	4,778	4,765	13	0.3
留寿都村	1,911	1,907	4	0.2	留寿都村	1,911	1,907	4	0.2

2 減少した市町村（減少数の大きい・減少率の高い10市町村）

（単位：人、%）

市町村名	減 少 数				市町村名	減 少 率			
	令和2年	平成27年	減少数	減少率		令和2年	平成27年	減少数	減少率
函館市	251,084	265,979	△ 14,895	△ 5.6	月形町	3,691	4,577	△ 886	△ 19.4
小樽市	111,299	121,924	△ 10,625	△ 8.7	上砂川町	2,841	3,479	△ 638	△ 18.3
旭川市	329,306	339,605	△ 10,299	△ 3.0	夕張市	7,334	8,843	△ 1,509	△ 17.1
釧路市	165,077	174,742	△ 9,665	△ 5.5	歌志内市	2,989	3,585	△ 596	△ 16.6
室蘭市	82,383	88,564	△ 6,181	△ 7.0	木古内町	3,832	4,547	△ 715	△ 15.7
北見市	115,480	121,226	△ 5,746	△ 4.7	音威子府村	706	832	△ 126	△ 15.1
岩見沢市	79,306	84,499	△ 5,193	△ 6.1	松前町	6,260	7,337	△ 1,077	△ 14.7
網走市	35,759	39,077	△ 3,318	△ 8.5	芦別市	12,555	14,676	△ 2,121	△ 14.5
登別市	46,391	49,625	△ 3,234	△ 6.5	福島町	3,794	4,422	△ 628	△ 14.2
稚内市	33,563	36,380	△ 2,817	△ 7.7	古平町	2,745	3,188	△ 443	△ 13.9

(5) 年齢別人口

65歳以上人口は166万4,023人で、前回調査から10万5,636人(6.8%)の増加

人口を年齢3区分別にみると、15歳未満の人口が555,804人(10.8%)、15～64歳が2,945,727人(57.0%)、65歳以上が1,664,023人(32.2%)となっている。

これを、前回調査と比べると、15歳未満の人口が52,492人(△8.6%)、15～64歳が245,077人(△7.7%)減少となっているのに対し、65歳以上が105,636人(6.8%)増加している。

また、人口構成比は、15歳未満が0.6ポイント、15～64歳が2.6ポイント低下しているのに対し、65歳以上人口が3.1ポイント上昇し、約3割を占めるに至っている。

表5 年齢(3区分)別人口の推移

調査年次	人 口			構 成 比			
	総数	15歳未満	15～64歳	65歳以上	15歳未満	15～64歳	65歳以上
大正9年	2,359,183	966,058	1,322,774	70,351	40.9	56.1	3.0
14年	2,498,679	1,042,866	1,379,200	76,613	41.7	55.2	3.1
昭和5年	2,812,335	1,157,871	1,572,842	81,622	41.2	55.9	2.9
10年	3,068,282	1,252,627	1,721,660	93,995	40.8	56.1	3.1
15年	3,272,718	1,287,653	1,877,116	107,229	39.4	57.4	3.3
20年	3,518,389	1,297,338	2,072,745	148,306	36.9	58.9	4.2
25年	4,295,567	1,659,831	2,475,350	160,304	38.6	57.6	3.7
30年	4,773,087	1,750,215	2,836,557	186,265	36.7	59.4	3.9
35年	5,039,206	1,681,479	3,145,664	212,063	33.4	62.4	4.2
40年	5,171,800	1,462,123	3,460,359	249,318	28.3	66.9	4.8
45年	5,184,287	1,309,487	3,575,731	299,069	25.3	69.0	5.8
50年	5,338,206	1,312,611	3,657,884	366,651	24.6	68.5	6.9
55年	5,575,989	1,298,324	3,823,808	451,727	23.3	68.6	8.1
60年	5,679,439	1,217,959	3,910,729	549,487	21.4	68.9	9.7
平成2年	5,643,647	1,034,251	3,924,717	674,881	18.4	69.7	12.0
7年	5,692,321	898,673	3,942,868	844,927	15.8	69.3	14.9
12年	5,683,062	792,352	3,832,902	1,031,552	14.0	67.8	18.2
17年	5,627,737	719,057	3,696,064	1,205,692	12.8	65.8	21.5
22年	5,506,419	657,312	3,482,169	1,358,068	12.0	63.3	24.7
27年	5,381,733	608,296	3,190,804	1,558,387	11.4	59.6	29.1
令和2年	5,224,614	555,804	2,945,727	1,664,023	10.8	57.0	32.2

(注) 年齢3区分の割合は、総数から年齢不詳を除いて算出。

図2 年齢(3区分)別人口割合の推移

